

こんにちは

日本共産党

横浜市議団です

日本共産党
横浜市会議員団
2007. 8. 15号

横浜市中区港町1-1(市庁舎内)
電話 671-3032 FAX 641-7100
E-mail: info@jcp-yokohama.com
http://www.jcp-yokohama.com/

戦後
62年

“平和憲法を守ろう”の声をあげましょう

毎年夏になると、テレビや新聞では戦争にまつわる特集が目につきます。太平洋戦争での被害者は、日本人310万人、アジア人2000万人にのぼり、原爆の被害は今もまだ続いています。

戦後、二度と戦争はしないと平和憲法ができました。しかし、安倍首相は日本をアメリカと肩を並べて海外で戦争のできる国にするために、憲法を変えようとしています。

再び、戦争によるあやまちを繰り返さないために、平和憲法を守ろうの声をあげましょう。

横浜港
の中心に
居座る

米軍横浜ノース・ドックが機能強化に



横浜港の米軍基地ノース・ドック 大貫議員撮影

神奈川県は沖縄県に次いで米軍基地の多い県であり、横浜市内にも7つの米軍施設があります。その一つ横浜湾の米軍基地ノース・ドック(54.9ha)には、米軍艦や米軍関係の荷を積んだ民間船が寄港します。

買い物客や観光客でにぎわうみなとみらい21地区のすぐ近くにあるノースドックが、米軍基地の機能強化の窓口になっているわけです。知らないうちに、戦争の手助けをしていることにならないでしょうか。

一刻も早い基地返還が望まれます。

あなたは空襲の体験はありますか？

私は横浜大空襲を幼い頃体験しました。幼い頃ですからきちんとした説明はできませんが、家の周りには、大きな病院があり学校もありました。空襲で空が赤く燃えていたのを覚えています。病院から患者さんが助けを呼んでいましたが、母は生まれたばかりの妹を背負い、幼い私の手を引っ張り、わき目もふらずに前に進んでいきました。恐ろしさは感じませんでした。ほとんどの人が空襲で殺されていますが、自分がどうして今生きていられるのか不思議です。(高野明子前市会議員のブログから)

高野前議員は、「いままでちゃんと空襲の体験を語ることがなかったけれど、これからきちんと伝えていきたい」と話していました。



横浜大空襲：1945年5月29日、B29・475機、P51・約100機の空爆により、死傷者16万人以上、罹災者約32万3000名の被害が出ました。